

日米関税交渉の合意に対するコメント

神戸商工会議所

会頭 川崎 博也

米国の関税措置をめぐる日米交渉が合意に至った。

長期間の交渉過程において、先の見えない予測困難な状況が続いてきたが、今回の合意で、その不透明感が軽減され、企業の取引や投資における予見性が回復したことを大きな前進として評価したい。

また、国益を損なわないことを基本に、粘り強く交渉を続けてこられた政府関係者のご努力に敬意を表する。

一方で、分野・品目ごとの関税による今後の個別具体の影響や、グローバル経済における他国との関税交渉の結果が見えない中において、手放しに喜ぶことはできない。

多くの中小企業が物価高騰や深刻な人手不足により厳しい経営状況が続く中、今後の影響を見極め、政府や自治体とも連携しながら、商工会議所として必要な支援に適時取り組んでいきたい。

令和七年七月二十三日